



2026年3月24日

各 位

会 社 名 JALCO ホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役社長 田辺 順一
(東証スタンダード市場・コード 6625)
問合せ先 管理本部長 櫻井 義郎
電 話 03-3274-5240

資金の借換に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、既存借入金の借換（リファイナンス）を目的として、株式会社みずほ銀行（以下「みずほ銀行」といいます。）からの資金の借入を決議いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 借入の目的

当社は従前、信用金庫、信用組合、地方銀行を中心に資金調達を行ってまいりましたが、この度、当社の事業基盤および財務運営に対する評価の高まり等を背景として、みずほ銀行からの借入が可能となりました。当社はこれを、資金調達体制を次の成長フェーズに見合った形へ進化させる機会と捉えております。

本件は、借入先の見直しを通じて、資金調達の安定性および機動性を一層高めるとともに、調達条件の改善や借入枠の拡大を図り、当社の成長投資をより円滑に推進するための資金調達体制を整備することを目的としております。特に、金融機関の営業エリア等に左右されにくい資金調達を可能とすることで、投資機会の獲得局面において迅速な意思決定と実行が行える体制を確保し、資金面の制約により機会損失が生じるリスクの低減を目指します。

また、当社は、事業環境や金利環境の変化に応じて、資金調達手段や条件を継続的に最適化し、資金繰りの予見可能性を高めることで、財務運営の安定度向上を図ってまいります。これらの取り組みを通じて、当社が推進する不動産取得等の投資案件について、資金調達面からの実行力を一層高め、資本効率を意識した投資の実行と収益力の向上を図ってまいります。

さらに、当社は、これまで一部に偏りがちであった投資機会をより広く提供し、低コストかつ簡便に利用できるようにする「金融の民主化（Democratization of finance）」を目指し、不動産および債権等を含むリスク資産の流動化を起点として、これらの資産を投資家向けに金融商品化（商品組成・証券化等）し、投資機会として提供するための仕組みづくりを推進しております。

この一連の取り組みを継続的かつ安定的に進め、投資機会の拡充を図るためには、大手金融機関（メガバンク）に加え、証券会社、ノンバンク等との連携を含む金融ネットワークの拡充が重要であると考えております。今回のみずほ銀行との取引は、当該ネットワーク強化に向けた重要な一歩であり、当社の資金調達基盤の高度化ならびに金融ネットワークの拡充を通じて、投資機会に対する対応力および商品供給体制の強化を図ってまいります。

2. 借入の概要

- (1) 借入先：株式会社みずほ銀行
- (2) 借入総額：953,500,000円
- (3) 利 率：TIBOR+1.6%
- (4) 契約締結日：2026年3月24日
- (5) 借入実行日：2026年3月26日
- (6) 弁済期日：2040年8月31日
- (7) 資金用途：既存不動産にかかる借換資金

3. 今後の見通し

本件による当社の連結業績への影響は軽微であると見込んでおります。

一方で、本件借換により、資金調達の安定性・機動性の向上、調達条件の改善余地の確保および資金調達余力の拡大を通じて、財務基盤の強化を図ることができるものと考えております。これにより、当社が推進する不動産取得等の投資機会に対し、より迅速かつ柔軟に対応できる体制を整え、資本効率を意識した投資の実行と収益力の向上を通じて、持続的な成長および企業価値向上に努めてまいります。

今後、公表すべき事項が生じた場合には、速やかに開示いたします。

以 上